

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター藤沢市太陽の家しいの実学園

公表日 2025年 3月 18日

利用児童数 2025年 2月 14日

回収数 44

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	43	1			子どもの成長につれて大きな部屋があるとよいと感じる。	スペースなども考慮し、保育プログラムをできる範囲で組み立てております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	35	3			少なく感じる時がある。 作業療法士の補充がされていない。	各種媒体での募集や養成学校への定期訪問等により、職員募集に努めております。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	36	5			表示などはわかりやすく工夫されている。 備品に破損しているものがある。	備品に関しては、随時更新に努めて参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	34	6			建物は古いが掃除は行き届いているように感じる。	建物の老朽化は否めませんが、清掃・消毒などには細心の注意を図り、安全安心な施設空間の保持に努めます。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	38	5			職員によって差を感じる。 言語聴覚士の時間をもう少し欲しい。	職員の技量・知識の平均的獲得の目的により、グループ制を導入いたしました。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	39				概ね公表されている内容と思います。 公表されていることに気づきませんでした。	適時、公表等の更新を行います。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	1				
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	36	4			親が思いつかないような支援内容が書かれており、さすがだなと思うこともある。	ご家族や関係機関と連携し適切な支援を心掛けます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	40	2				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	10			ある程度パターン化されたプログラムであるが障害特性上、それも必要と感じる。	グループでの多様なアイデアの下、支援プログラムに関しては更なる検討をいたします。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	12	3			個人交流を体験させていただきました。	皆様に体験の機会をつくれませんでした。
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	42	2			過不足なく説明があった。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43				過不足なく説明があった。	
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	41	3			保護者教室に参加しました。もう少し、ペアレントトレーニングの機会があると良いと思います。	ペアレントトレーニング講習に関わらず、様々な機会が創出できるように努めます。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	41	2			特に健康状態には気を配っていただいていると思います。 電話や面談時に先生方と話すのが楽しいです。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42	2				
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	2			皆さん親身になって応えてくれます。	園児はもとより、保護者の方々とともに支援に取り組む姿勢を忘れずに支援して参ります。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	19	17			保護者教室はとても勉強になりました。 兄弟児の交流はありませんでした。	感染症の対策や保育の都合上、実現ができませんでした。次年度以降の課題として検討いたします。
19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2			現場保育士と管理職の情報の共有に不十分な面を感じます。		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	4	2	7		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41	1	1	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	36	2		6	訓練は実施されておりますが、マニュアルの周知が不十分に感じます。	周知方法を検討します。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	41			3		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	38	2	2	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	40	1	2	1	些細なことでも連絡をいただいております。	細心の注意を払いながら支援を行うとともに発生時は速やかにご報告いたします。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	40	1	1	2	家の次に安心できる場所になっていると思います。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	5	1		毎日楽しみに通園している。いつも笑顔で通っている。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	40	4				